

インフラ整備70年 講演会(第42回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

関門自動車道の建設と50年後の今

－ 東洋一の吊橋への挑戦、そして長大吊橋技術立国へ －

<講演プログラム>

1. はじめに 計画の経緯と事業概要
2. 若戸大橋を超える吊橋への挑戦
3. 東洋一の吊橋建設
4. 関門橋の現状とリフレッシュ計画
5. 関門道の整備効果、終わりに

<講演者>

- 日野 伸一 (九州大学名誉教授)
風間 徹 (元日本道路公団 東北支社長)
内田 道雄 (元日本道路公団 副総裁)
芝村 善治 (西日本高速道路(株) 代表取締役副社長執行役員)
小笹 浩司 (西日本高速道路(株) 取締役常務執行役員・保全サービス事業本部長)
中村 順 (西日本高速道路(株) 執行役員・九州支社長)
大城 壮司 (西日本高速道路(株) 構造技術課長)
大竹 明朗 (大成建設(株) 土木本部 土木技術部 地盤・環境技術室長)
鳥井浩一郎 (元鹿島建設(株) 九州支店 土木担当課長)
三田村 武 (元(株)神戸製鋼所 技師長)
太田 武美 (元宮地エンジニアリング(株) 執行役員)

2023年 7月27日 (木)

講演会: 15:00～17:00 (入室開始予定: 14:40～)

場所: ZOOMウェビナーによるWEB配信 定員: 1,000名

写真提供: NEXCO西日本

古くからの夢であった本州と九州の連絡は、明治29年11月に船による連絡路が整備され、昭和17年11月に鉄道トンネル(下り線)が、昭和33年3月に関門国道トンネルが開通した。これにより本州・九州間の輸送力は飛躍的に大きくなったが、関門国道トンネルの交通量が昭和35年頃から著しい増加の傾向を示してきたため、昭和38年11月に「第二関門国道連絡協議会」が結成され、関門国道トンネルのバイパスとして第二関門道路(関門自動車道)建設の検討が本格的にスタートし、昭和40年12月に吊橋型式の橋梁案(関門橋)が採択された。

若戸大橋の技術を発展させ、本四架橋につなげる使命感を掲げて関門橋の建設が始まった。初の国産技術で実施した平行線ケーブルのPWS工法や、補剛トラス架設の逐次剛結工法などの新しい技術へのチャレンジや幾多の課題を解決した工夫などを、開通から50年が経過した関門自動車道の現況や大規模修繕計画、整備効果等とともに紹介する。

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会 後援: (公社) 土木学会

《講演者略歴》

日野 伸一	(九州大学名誉教授)
風間 徹	(元日本道路公団 東北支社長)
内田 道雄	(元日本道路公団 副総裁)
芝村 善治	(西日本高速道路(株) 代表取締役副社長執行役員)
小笹 浩司	(西日本高速道路(株) 取締役常務執行役員・保全サービス事業本部長)
中村 順	(西日本高速道路(株) 執行役員・九州支社長)
大城 壮司	(西日本高速道路(株) 構造技術課長)
大竹 明朝	(大成建設(株) 土木本部 土木技術部 地盤・環境技術室長)
鳥井浩一郎	(元鹿島建設(株) 九州支社 土木担当課長)
三田村 武	(元(株)神戸製鋼所 技師長)
太田 武美	(元宮地エンジニアリング(株) 執行役員)

講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 無料 (どなたでも申し込みできます)
- お申し込みは、協会HP (<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点でキャンセル待ちとしての受付となります。(申込み完了通知メールの確認をお願いします)
- **受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)**
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 定員内の申込者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- キャンセル待ちの申込者には、講演当日15時時点で空きがある場合のみZOOM入室URL(事前登録用)を送付させていただきます。なお、先着順で定員を超えた時点で入室出来ません。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等のご遠慮頂きますようお願いいたします。

問合せ先 E-mail : infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであると、過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第43回講演会 2023年9月22日(金) 15:00~17:00

テーマ: 横浜みなとみらい21

講演者: 恵良 隆二 (公財)横浜市芸術文化振興財団 専務理事 (元三菱地所(株))

岸井 隆幸 (一財)計量計画研究所 代表理事

坂和 伸賢 (一社)横浜みなとみらい21 理事長

廣瀬 良一 元横浜市 助役

佐藤 行司 横浜市都市整備局みなとみらい・東神奈川臨海部推進課 担当課長

* ZOOMウェビナーによる ライブ配信にて行います